



子どもから高齢者までが集い、地区で開催されている町民体育大会



母親たち独自のサークル活動もサポートする「子育て支援センター」



町全体の漁船隻数は県内の約15%を占める

Town Vision

4

環境と調和した まちづくり

他に誇りうる海・山川などの豊かな自然環境の一体的な保全と資源循環型社会の推進に努めながら、社会基盤の整備や町民と行政の協働による美しい景観づくりなどの「環境と調和したまちづくり」を進めていきます。

町民の生活範囲が行政エリアを越えて広域化してきている今日、重要になるのが公共交通網・道路交通網の充実です。町では、民間事業者による町内路線バスの廃止に伴い、2006年10月から町民バスと民間事業者による乗合タクシーの定時・定路線運行を開始し、児童生徒や高齢者などのいわゆる交通弱者の利便性を確保しています。そして、町民の長年の願いである三陸縦貫自動車道の早期整備促進に対して、防災面や産業振興の面などから、その活用に大きな期待が寄せられています。

Town Vision

3

みんなで支えあう 健康のまちづくり

町民自らが心身の健康づくりに努め、一人ひとりが心豊かで自分らしい生活ができるよう、町では「みんなを支えあう健康のまちづくり」を掲げ、各種検診や健康づくり、疾病予防のための健康教育・健康相談、体力づくり事業などを推進していきます。

2016年には本町の65歳以上の方の割合が30%を超えることが確実視され、また、少子化も今後一層進行していくことが予測されていることから、保健・医療・福祉の連携を強化するとともに、高齢者福祉や障害者福祉の課題は、地域社会とその家族、そして行政の連携によって解決していくという地域福祉推進体制の整備を進めていきます。

その一環として、町の職員が講師となり、1989年から志津川高校では選択科目に福祉教育の授業を導入し、福祉の現場を理解しても



町民バスと乗合タクシーは新しい町民の“足”に



80歳を超えてなお生涯現役で働く高齢者が多いことが町の自慢



公立志津川病院内に併設されている「りあす訪問看護ステーション」



健やかにたくましく、町の未来を担う宝を地域ぐるみで守り支えていきたい



商店街の空き店舗を活用して開設したコミュニティサロン「五日町ゆめプラザ」



養殖パイが浮かぶ志津川湾内を周遊する観光客に人気の観光クルージング船